

## 令和5年度 長寿の里・海津 事業報告

### 【令和5年度重点目標】

- ・ご利用者のニーズを汲み取り、満足した生活が送れる環境をつくる。
- ・施設全体で、働きやすい環境、体制作りに努める。
- ・人材の育成、外部、内部研修へ積極的に参加できるように工夫し、職員のスキルアップに繋げる。
- ・地域や関係諸機関と情報共有等でも連携し、地域に貢献する。

### 【各部門事業実績】

特別養護老人ホーム 令和5年度年間稼働率 98.3%

#### 1. 個別ケアの推進

- ・コロナ禍で面会や外出に制限がある中、施設生活を明るく楽しんでいただけるよう季節に応じた年中行事を行ったりと、職員が雰囲気作りを工夫しケアを行った。
- ・ご利用者のADLの変化に合わせ、その都度介助方法を職員間で検討し、積極的な意見交換が行え、日常生活の自立に向けた援助に努めた。
- ・健康管理について、定期健康診断の実施と疾病の早期発見・治療に努めました。その際速やかにご家族へ連絡し情報共有しました。

#### 2. サービスの質の向上

- ・これまでのような参加型での研修機会が減少したが、オンライン研修の活用により、各種施設外研修への参加を実施する事が出来ました。  
施設内研修においては、年間施設内研修計画に則り、職員が講師となり事故防止・虐待・看取り介護・褥瘡予防・感染症予防等を実施した。

#### 3. 地域貢献

- ・施設の専門的な機能を地域に提供することを基本的な考え方として、地域密着会議の開催や自治会の行事へ参加し、協力体制の構築に努めた。

ショートステイ 令和5年度年間稼働率 80.0%

#### 1. 環境づくりの強化

- ・計画的にユニットの個々の消毒を実施し居住環境の向上に努めました。感染症対策についても法人の規程に準じ、感染症対策備品を充実させ、感染症蔓延予防に努めました。
- ・感染対策を行い、緊急時の対応や受け入れ態勢を整える事が出来た。
- ・ご利用者の状態変化に対して、他職種間で連携し対応する事が出来た。

#### 2. サービスの質の向上

- ・適時近況や介護内容の連絡を多く行なうことによって、ご家族やケアマネジャーとより絆を深める事が出来た。ご利用者ご家族の気持ちに寄り添える支援に努めた。
- ・サービス計画書、アセスメント表、モニタリングシート等を用いて、生活全般の解決すべき課題の評価を実施し、細かな点まで配慮が行き届くように努めた。

### 3. 個別ケアの推進

- ・ご利用者の生活に沿った居室作りや、過ごしやすい環境を提供出来るよう努めた。
- ・機能訓練以外で、ご利用者の身体機能に合った日常生活動作を取り入れた訓練を行う事が出来た。
- ・施設内でのレクリエーションが中心となったが、ご利用者の個々の趣味嗜好に合わせ実施する事が出来た。

デイサービス 令和5年度年間稼働率 68.3%

#### 1. 環境づくりの強化

- ・住み慣れた家で暮らし続けたいと願うご利用者の在宅での生活を支援し、生きがいとなる活動を目的とし提供出来た。
- ・ご利用者の状態や利用時の状況を、随時ご家族やケアマネジャーに報告し、情報共有や連携を図る事が出来た。
- ・感染対策を行い、緊急時の対応や受け入れ態勢を整える事が出来た。

#### 2. サービスの質の向上

- ・残存機能を生かした介護及び機能訓練の実施、身体機能の維持向上に努め、社会的孤立感の解消や精神面の活性化を図るために、行事やレクリエーションを行う事が出来た。
- ・施設内通貨を有効活用し、少人数で行う取り組みを主にご利用者による選択・個別化を図り活気のあるデイサービス作りを行った。

#### 3. チーム力の強化

- ・ご利用者一人ひとりに送迎・健康状態・入浴・食事・排泄・心理・社会面に至るまでの個別援助計画を作成し、それに基づきサービス提供を行った。
- ・職員間の連携を充実させ、よりよい介護サービスに繋がるように職員指導にあたった。さらに職員会議や内部研修を定期的に行い資質向上に努めた。
- ・日頃から接遇やマナーに意識付けしてケアが行えており、職員間で声を掛け合うことも出来た。

## 【全体】

ご利用者の安心と満足度の充実を目指して、サービス提供を行いました。業務の体制作りや分担を見直し、担当の細分化などにより一層寄り添えるケアを目指し介護サービスに取り組みました。今後ご利用者の満足度をいかに高められるかを職員一丸となって取り組んで参ります。

全ての職員が介護現場に携わるという組織が一体となった取り組みと、家族へご利用者の日常の様子を伝えること、信頼関係とサービスの向上に努めてきましたが、今後も継続して取り組んで参ります。